

まいた

令和4年度

11月号

令和4年10月27日

<http://www.edu.city.yokohama.tg.jp/school/es/maita/>

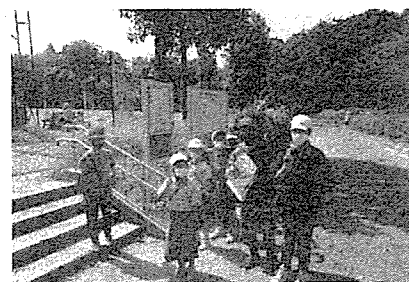
全校なかよし遠足

校長 高松 一彦

9月30日(金)に、全校なかよし遠足を行いました。コロナ禍ということもあり、昨年、一昨年は全校遠足を実施できなかったため、実に3年ぶりの実施です。私も、蒔田小に着任して初めて経験する全校一斉で行う校外学習です。

蒔田小では、1年を通し、縦割りグループ活動を行っています。5月の縦割りグループ作成、6月の顔合わせ、9月中旬の事前準備を経て、9月30日のなかよし遠足当日を迎えました。

校内で出発式を行った後、学校から久良岐公園を目指します。学校出発から小一時間、子どもたちは元気に久良岐公園まで歩きました。公園に到着しグループごとに集まると、午前中は、ウォークラリーを行いました。6年生のリーダーを中心に、1年生から6年生までが一緒にチェックポイントを回っていきます。チェックポイントでは、グループのみんな協力しながら問題を解いたり、問題をクリアすると担当の先生にサインをもらったりして、また次のチェックポイントを目指します。スタートした頃は、よそよそしい様子だった子どもたちも、進んでいくうちに少しずつ打ち解け、終盤にはみんなでわいわい言いながら仲良く歩く姿が見られるようになりました。ウォークラリーが終わり、昼食を済ませると、午後の活動です。自由広場周辺で、グループごとに計画した活動を行いました。ドッジビーを行う班、虫さがしを行う班、おにごっこを行う班など、各班で工夫した活動を楽しく行う様子が見られました。



縦割り班でのウォークラリーの様子

やがて学校へ戻る時間となりました。行きは元気だった子どもたちも、たくさん遊んだ疲れと暑さのためか、帰りは足取りに重さを感じられました。それでも子どもたちは、互いに励まし合いながら学校まで無事にたどり着きました。特に低学年の児童は、しっかり学校まで歩ききったことで自信を深めたようです。

縦割り活動の良さは、異学年が一緒になって活動することにあります。高学年は、下学年の児童をまとめ率いる経験をすることで、高学年としての自覚を深めます。中学年の児童は、高学年をお手本に、自ら進んで行動する力を身につけます。低学年の児童は、上級生のまねをしながら活動に参加する力を身につけます。3年ぶりの全校遠足で、思うように進まなかった部分もありましたが、この全校なかよし遠足を体験することで、子どもたちはどの子も一回り大きく成長し、学年を越えた子どもたち同士つながりも深まったように思います。

現在、校庭では今週末に行うときどきスポーツフェスティバルに向けた練習を行っています。今年のとどきスポも、昨年同様3つの部に分かれて開催しますが、子どもたちが一体感をもって参加できるよう、他の部の様子を教室から映像で観戦・応援することとしました。本校は校庭が狭いため、保護者の皆様には人数を制限して観戦していただくこととなりますが、子どもたちの日頃の学習の成果の一端をご覧いただければと思います。ぜひ心の中で大きな声援をお願いいたします。